

## 外交史料館ニュース

### 一、外交記録公開

「公文書等の管理に関する法律」(平成二二年法律第六六号)及び「外交記録公開に関する規則」(平成二二年外務省訓令第七号)等に基づき、令和四年(二〇二二)年内に以下のとおり外交記録を外交史料館に移管し、目録に掲載した(ファイル等の概要情報は外交史料館ホームページにて閲覧可能である)。

一月三一日	二〇六冊
三月三一日	二〇一冊
五月三一日	一六三冊
六月三〇日	三二冊(戦後条約書)
七月二九日	一六五冊
九月三〇日	一五五冊
十一月三〇日	一五二冊
十二月二一日	一九冊(戦後条約書を含む)※

※は特別審査対象ファイルであり、即時閲覧可能な状態で公開された。その中には平成三(一九九一)年の湾岸危機、海部総理訪米、ゴルバチョフ・ソ連大統領訪日、ソ連邦崩壊、海部総理訪中等が含まれる。全文書の画像は外交史料館ホームページでも閲覧可能である。

### 二、所蔵記録のマイクロフィルム化及びデジタル化の実施

戦後七〇年を契機として内閣総理大臣の下に設置された「二〇世紀を振り返り二一世紀の世界秩序と日本の役割を構想するための有識者懇談会」報告書において我が国が取るべき具体的施策として「アジア歴史資料センターの充実」が指摘されたことを受け、平成二八年度から同センターへの史料画像提供及び所蔵記録の保存などを目的として、戦後外交記録のマイクロフィルム化及びデジタル化の作業に順次着手している。令和三年度においては戦後外交記録のうち、第一回～第三回外交記録公開で公開されたファイルを中心に作業を進め、同センターに三四五冊分(約一〇万四八二五コマ)の画像を提供した。戦後外交記録の提供状況については、本号掲載の「アジア歴史資料センターへ画像提供した戦後外交記録について」を参照いただきたい。

### 三、第一六回外交文書編纂者国際会議(二〇二二年ワルシャワ)

令和四年六月八日から一一日まで、第一六回外交文書編纂者国際会議(16th International Conference of Editors of Diplomatic Documents)がポーランドの主催により同国ワルシャワにおいて開催された。

本会議は、一九八九年の第一回ロンドン会議以来隔年ごとに開催されており、今回の会議には、わが方をはじめ、欧州諸国を中心に二四カ国の外交文書編纂担当者などが参加、リトアニアやウクライナなど旧ソ連から独立した歴史を持つ国々が自国の歴史を外交文書を通して

紹介すると共に、一九八〇―八二年のポーランド危機（「連帯」運動・戒厳令・ソ連侵攻の脅威）に対する各国の反応等について、各国が所蔵する外交文書をもとに議論が行われた。また、オーラル・ヒストリーやデジタル版外交文書集の編纂事業等への取り組みに関して意見交換が行われた。

#### 四、展示

令和四年五月一三日から五月二五日まで原本特別展示「沖繩返還協定」を、六月二日から九月一三日まで原本特別展示「旧・日米安全保障条約」を開催した。

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により会期のほとんどを休館した特別展示「外交史料館五十年」を令和四年二月三日から五月二五日まで再度開催した。また、令和四年九月二日から十二月二七日まで日中国交正常化五〇周年を記念して特別展示「日中国交正常化五〇年」を開催した。

館外展示としては、七月二日から八月二八日まで、JICA横浜海外移住資料館において、同館との共催で企画展示「外交史のなかの海外移住くそれぞれの始まり」を開催した。館外展示の詳細は本号掲載の記事を参照いただきたい。また、右展示の関連行事として、七月一〇日に、富塚編纂室長による公開講座「条約書でたどる日本と南北アメリカ諸国との外交関係の成立・発展」を実施した。